

平成29年度 特別養護老人ホームネバーランド事業計画書

<事業の種類>

1、介護保険法

- ・ 介護老人福祉施設 (定員50名)
- ・ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (定員20名)
- ・ 短期入所生活介護 (定員22名)

2、障害者総合支援法

- ・ 短期入所 (空床対応)

<運営方針>

- ・ 利用者の個性が発揮でき、その人らしい生活が送れるような利用者本位の生活支援を行う。
- ・ 利用者の個性、能力を把握し、ADL（日常生活動作）の維持向上に努める。

<事業計画>

1、基本サービス

①食 事

- ・ 週3回の選択メニューや季節感を感じる行事食、食欲をそそる実演料理等、利用者の五感を刺激する料理を行い、見た目、味覚共に楽しみとなる食事を提供していく。
- ・ 嚥下の困難な方へのムース食の提供を行う。
- ・ 馴染みの方と一緒に過ごせる席の配慮や、落ち着ける場所の確保、リラクゼーション効果のある音楽を流す等、食事を楽しめる雰囲気作りを行う。
- ・ 利用者一人ひとりの栄養ケアマネジメントや嗜好調査を行い、栄養ケア計画を作成し実施する。
- ・ 個々の運動量等を考慮し、適切な食事量の提供を図る。

②入 浴

- ・ 個々の身体状態や希望に応じた、個浴またはチェア浴での定期的な入浴を実施する。またプライバシーに配慮し要望に応じた柔軟な対応（日数や時間変更）を実施し、心地よさを支援する。
- ・ 冬至の柚子湯や夏のミント湯等、季節感を感じる季節湯の提供を図る。

③排 泄

- ・ 個々の排泄パターンを把握し、ADL（日常生活動作）に沿った介護・排泄用品を使用する事で、排泄の自立と清潔を保ち、臭い対策にもつなげる。

④健康管理

- ・ 日々、身体の状態把握や、排便状態、定期的なバイタルチェックを行い疾病の早期発見と受診等を支援する。
- ・ 年1回（5月）の健康診断を実施すると共に、嘱託医・協力医療機関と連携し健康管理に努める。
- ・ インフルエンザの予防接種を嘱託医と連携し実施する。
- ・ 感染症対策として感染源の進入防止と、利用者・職員の罹患の早期発見に努め、感染の伝播、拡大を防ぐ。

⑤リハビリ

- ・ 機能訓練指導員により個別機能訓練計画を作成し、歩行訓練や関節可動域訓練等を定期的に実施する。

⑥生きがい対策

- ・ 療育音楽や学習療法、レクリエーションや昔遊び等、複数のプログラムを準備し、楽しみながら、現存機能を活かした活動への参加を勧める。
- ・ 行事計画委員会メンバーを中心として、定期的に観光、外食、ショッピング、ドライブなど多くの外出の機会を設け、心身のリフレッシュを図る。
- ・ 毎月の誕生会担当を決め、月ごとに趣向を凝らした誕生会を実施し、皆で楽しみながら、誕生者を祝う。
- ・ 地域ボランティアの来訪を歓迎し、地域住民と利用者との交流を支援する。
- ・ 外部インストラクターによる運動を実施し、心身の健康維持・向上を目指す。

⑦地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

- ・ 各ユニットが、明るく家庭的な雰囲気有し、入所者がそれぞれの役割を持って生活を営むことができるよう配慮する。
- ・ 入所前の居宅における生活と入所後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入所者が相互に社会的関係を築き、自立的な日常生活を営むことを支援する。
- ・ 地域や家庭との結び付きを重視した運営を行い、行政機関・保健医療サービス・福祉サービス等と密接な連携に努める。

⑧短期入所生活介護

- ・ 日曜、祭日の送迎体制等を整え利用者や家族の要望に応える。
- ・ 新規利用者については、ゆったりと関わりコミュニケーションを密にとることにより施設に馴染んでいただく。
- ・ 緊急利用に対しても、柔軟に対応し可能な限り受け入れを行う。
- ・ 障害者総合支援法に基づく、障害者の方の受け入れを行う。

⑨人材育成・その他

- ・ 新人職員にはスキルアップ委員会を中心に1年間の育成プログラムを作成し、定期的に面談・評価を行い、中堅リーダーと所属長がバイザーとなり技術の指導や心のケアを行っていく。
- ・ 中堅リーダーは法人のスタッフとして自覚を持ち、各種マニュアルに基づいた責任ある業務の遂行を行い、介護技術の向上と、そのスキルを新人職員へ指導していく。
- ・ スタッフは、家族会行事や面会に来られた際、積極的に家族と交流し信頼関係を築く。また随時、利用者・家族から意見や要望を伺いながら一層の個別サービス向上に努める。

2、利用者の日課

7：00	起床、洗面、着替え等	14：00	入浴
7：45	朝食	15：00	喫茶、おやつ
8：50	ラジオ体操	18：00	夕食
9：30	入浴	19：00	着替え、余暇時間
10：00	喫茶、レクリエーション	20：30	消灯
12：00	昼食		

- * 火・木曜日・・・・療育音楽
- * 第2・4水曜日・・・・訪問美容
- * 第2・4土曜日・・・・書道クラブ
- * 第3木曜日・・・・誕生会
- * 5月・・・・健康診断
- * 5月・11月・・・・わん・にゃんサークル（動物病院ボランティア）

3、行事計画

①施設行事

- 4月 お花見会（家族会行事）、加西フラワーセンター外出、お花見ドライブ（姫路城周辺）
- 5月 鳥取砂丘界限散策、たこ焼き作り、うどん外食
- 6月 合同慰霊祭、バラ園外出、たつの市そうめんの里外出、ホテル鑑賞外出
- 7月 スイカ割り、そうめん流し、加西イオン買い物外出
- 8月 花火大会、カキ氷作り、31（サーティワン）外出
- 9月 敬老会（家族会行事）、コスモス見学外出、お好み焼き外食、森林浴外出
- 10月 ネバーランド祭り（家族会行事）、野里街道散策と姫路城見学、たこ焼き作り
- 11月 加西イオン買い物外出、森林浴外出、ホットケーキ作り
- 12月 クリスマス会（家族会行事）、イルミネーション見学外出、クリスマスケーキ作り、忘年会
- 1月 正月遊び、初詣外出、厄神祭外出
- 2月 ひな祭り会（家族会行事）、節分行事、クレープ作り
- 3月 観梅ドライブ、和菓子作り、ホットケーキ作り

6、年間目標

① 介護老人福祉施設の平均利用人員

- ・ 49名／日（平均稼働率98%）以上を目標とする。
【平成28年12月現在 平均利用人員47.1人】
- ・ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の平均利用人員
- ・ 19名／日（平均稼働率95%）以上を目標とする。
【平成28年12月現在 平均利用人員10.8人】

<対策>

- ・ 利用者の健康管理を行い、入院の軽減に努める。
- ・ 入院となった場合は、病院及び家族と調整し早期退院ができるように努める。
また長期入院で退院の見込めない等の状況を早目に見極め、退所調整を行う。
- ・ 退所者があった際は、入所者の調整を迅速に行い、空床期間を最短とする。

② 短期入所生活介護の平均利用人員

- ・ 21名／日（平均稼働率95.5%）以上を目標とする。
【平成28年12月現在 平均利用人員17人】

<対策>

- ・ 緊急利用希望があっても、居室調整や入退所の送迎対応が困難で、利用に繋がらないケースがある為、利用者のニーズを伺いながら、柔軟な居室や日時の調整を図る事により、利用回数の増加に努める。
- ・ 日々のコミュニケーションにより要望等を把握し、利用者の満足するサービスを行い、リピーターを増やす。

※ 目標数値設定の根拠について、平成28年度の目標数値は、介護保険のマイナス改定を受けて、減収を補うかたちで目標設定を定めたが、平成28年度の実績は、目標数値に達成しない見込みである為、平成29年度も同じ数値を目標設定した。